

マレットゴルフ

マレットゴルフは、昭和52年、福井運動公園事務所にて開発されたゲームで、ゲートボール（主に用具）とゴルフ（主にルール）をミックスして競技化されました。決められた打ち出し地点からホールへできるだけ少ない打数で入れることを競います。市内には東運動公園（2コース）、日野川河川敷（1コース）、白崎公園（1コース）の計4コースがあり、高齢者を中心に親しまれています。

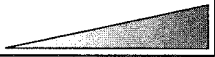
用具

- ☆スティック
（ヘッドの長さ240mm以内、径45～50mm）
- ☆ボール
（直径75mm±0.5mm重量220g±10g合成樹脂製、色は自由）

場所（コート）

- ☆1コースパー3からパー5の計18ホール



	
運動量	★★★
技 能	★★★
準 備	★

ルール（進め方）

- ① 各ホールスタートは、マット面上に球を置き第1打を打つこと。
- ② ジャンケンで出発順番を決め、1番は2番に、2番は3番に、3番は4番に、4番は1番にスコアカードを渡し打数を記入してもらう。
- ③ 次のホールからは、前のホールの打数の少ない者から第1打を打ち出す。打数の同じ時は、前のホールの打順とする。
- ④ 第2打以降はホールより遠い球から打つ。（打順を間違っても罰は与えない）
- ⑤ 同伴者全員が第2打を終了してから第3打に進む。次も同じ。
- ⑥ 基準打数2と3は6打で、4と5は8打でギブアップとする。
- ⑦ 自打球が同伴者の球にあたった場合、自打球は止まった位置とし、当てられた球は元の位置に戻す。
- ⑧ 自打球が障害物により打てない場合は、その旨を宣言し、1ステッキ分ホールに近づかない所へ出して打つ。この場合1打付加とする。
- ⑨ 第1打でコース外道路等に落ちた場合は、スタート時点より第3打として打ち直す。（打順は5番以降）2回目も落ちた場合は、落下地点、侵入地点より第5打として打つ。
- ⑩ プレーヤーはホールアウト後、速やかに後続組の妨げにならない場所に移動すること。スコアカードは、次の場所に移動後記入する。
- ⑪ 先行組の安全を確認するまでは、球を打ってはいけない。
- ⑫ 球はスティックの打撃面で打つこと。押し出し・かき寄せ・股打ち・すくい上げはいけない。この行為を同伴者が見たなら1打付加する。
- ⑬ コース内及びグリーン上で同伴者が妨げとなる時は、ピンマークを要求することができる。マークする場合は球の後方の直下とする。
- ⑭ 競技者は予備球（戻り打ち用）及びマーク用品を携帯すること。（時間の短縮）
- ⑮ スコアの誤記は競技失格とする。
- ⑯ 同伴者の確認欄にサインのない場合と間違いは失格とする。同伴者同士が誤記のないように確認して提出すること。